

牧石学区連合町内会:牧石ギャラリー



白い花
(アフターヌーンティム)



ウイナム・モリス・リリー
(コーヒー・カップのまじり)



ゴッダー・シェン・のヒ



内原でなし

町内の人々が作成した芸術品の数々。色使いに工夫が凝らされています(中島一美さんの作品)。

各町内会のホームページを紹介し(一部を抜粋)。各町内会が特色をそれぞれ持っています。

古都学区連合町内会:ぶどう紹介

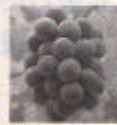


畑で作業しています



美味しそうに食べました!

葡萄の品種



ニュー ピオーネ

古郡の伝統的品種を誇る葡萄です。粒が非常に大きく、しかも甘味が強、肉が厚いのが特徴です。種なし品種は、凍らせてソーセージやアイスにして食べるのが大好き。これほどの葡萄は、一試食べた方にもお薦めです。岡山県がピオーネを主産品として、(産地)産地認定を認めています。出荷期間は6月上旬から10月下旬です。



藤稜

大粒で水分が多く、皮が甘くて風味の良い葡萄です。最近とみに人気を博しています。皮が柔らかいため、果粒解凍には適しません。食後は歯を磨いてください。古郡の産地認定を認めています。出荷期間は6月上旬から10月下旬です。



マスカット オブ アレキサンドリア

果物の王様と呼ばれ、その名は実に知られる。岡山県産の最高級の葡萄です。糖度は18~20です。上品な甘さで、産地認定を受けています。出荷期間は6月上旬から10月下旬です。

ブドウの一大生産地として有名な同学区。たくさんの品種を栽培していることなどを紹介しています。ブドウの香りが...

前土田町内会:自然災害の記録(室戸台風)

自然災害の記録(室戸台風) 1934年9月21日

その1(お家に保存されていたもの)



相生橋崩壊の現場(その1)



相生橋崩壊の現場(その2)



朝日川の電車で通った救助舟



市立商業学校付近

ここでは、1934年9月の室戸台風の際の旭川の決壊の様子を記録した資料(写真・絵はがき)を紹介しています。当時の様子がよく分かります。展示することにより、防災の意識向上をねらっています。

赤田町内会:ごみ収集について

あこた

赤田町内会

ホーム | サイトマップ | 会員専用 | 店舗・企業紹介

ごみ収集について	
<p>赤田町内会のごみ収集日</p> <p>毎週「月・水」曜日</p> <p>●決められた日と場所にごみ収集場に</p> <p>●決められた日と場所にごみ収集場に</p> <p>●決められた日と場所にごみ収集場に</p>	<p>毎月の生ごみ 果物 紙くず 木くず ゴム類(サンダル、靴、マット、ケース) 廃電池(乾電池、充電電池、ボタン電池、ニッケル水素電池、鉛蓄電池) プラスチック製品(ペットボトルは資源物) ペン 筆記具(ボールペン、鉛筆) 肉(生肉、冷凍肉)</p> <p>●生ごみは水切りを十分してください。</p> <p>●木くずは60cm以下 直径12cm以下に切って両手で握られる程度に集めてください。</p> <p>●天のら油等は、袋が厚いものに詰め、右側の袋で固めて出してください。(油はそのまま出さないでください)</p> <p>●捨てるものは汚物を取り除いて固く詰めて出してください。</p> <p>●生ごみは乾燥している状態へお持ちください。</p>
<p>毎月第3回の日「水」曜日</p> <p>●決められた日と場所にごみ収集場に</p> <p>●決められた日と場所にごみ収集場に</p>	<p>乾電池のびん 蛍光灯 電球 ひどく汚れたびん 缶 ガラス・樹脂製ガラス 鏡 ガラスコップ 食器類のびん 歯 歯 歯 歯</p> <p>●スプレー缶は必ず穴をあけて空気を抜いた後に出してください。</p> <p>●下着、靴下、タオルは新聞紙等に包んで出してください。</p> <p>●電球、蛍光灯は、購入した時に返していただくか、回収して出してください。</p> <p>●焼却物は水で濡らして少量ずつ出してください。</p>

「出せばごみ、分ければ資源」ごみの細かい出し方は覚えていないか。これがすぐにあると便利です。特に引っ越したての人には○。

※ここで紹介しているものはほんの一部です。いろいろな町内会が特色あるホームページを作っています。

電子町内会の目的は、前述した地域コミュニティをお手伝いするもので、重要なのは人と人との触れ合いです。コミュニティ活動を進める手段として、使えば大変便利なものがあります。ただパソコンを使用するので、抵抗のある人もいます。電子町内会を立ち上げた人の中には、パソコンに触れたことがなかったにもかかわらず、一生懸命勉強し、少しずつ慣れていった人もたくさんいます。苦勞する程、かえって充実感も大きいようです。

また、パソコンはよく使える人だけのものではなく、パソコンができる人が、できない人のために教えることや、誰にでも見やすい・分かりやすいホームページを作ったりと、そのために町内で教えあったり、意見を交換したりすることも地域コミュニティの活性化に重要な役割を果たしているのではないかと思います。さらにはインターネットなので町内を越えてのやりとりも可能です。

電子町内会のシステムは市民総務課が担当していますので興味のある人はお話を聞いてみては、また、インターネットをご利用の方は市民情報サイトも